

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【公開番号】特開2011-152710(P2011-152710A)

【公開日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2011-032

【出願番号】特願2010-15697(P2010-15697)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月18日(2012.7.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

請求項1乃至9のいずれか1項において、

前記第1ドット画像データのうち前記特定画素に相当する第1画素と、当該第1画素の記録を担う第1ノズルと同じ流路に属する他の第2ノズルで前記第1画素と同じタイミングにて吐出される第2画素のデータを基に前記第1画素の前記クロストーク評価値を計算する一方、

前記第1画素及び前記第2画素に対応した前記第1ノズル及び前記第2ノズルとは異なる流路に接続される第3ノズルによって記録される第3画素と、当該第3画素の記録を担う前記第3ノズルと同じ流路に属する他の第4ノズルによって記録される第4画素のデータを基に前記第3画素の前記クロストーク評価値を計算し、

前記第1画素のクロストーク評価値と前記第3画素のクロストーク評価値を基に、これら両画素のクロストーク評価値を平均化するように、前記第1画素と前記第3画素との間でデータを入れ替える処理を行うことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

(発明10)：発明10に係る画像形成装置は、発明1乃至9のいずれか1項において、前記第1ドット画像データのうち前記特定画素に相当する第1画素と、当該第1画素の記録を担う第1ノズルと同じ流路に属する他の第2ノズルで前記第1画素と同じタイミングにて吐出される第2画素のデータを基に前記第1画素の前記クロストーク評価値を計算する一方、前記第1画素及び前記第2画素に対応した前記第1ノズル及び前記第2ノズルとは異なる流路に接続される第3ノズルによって記録される第3画素と、当該第3画素の記録を担う前記第3ノズルと同じ流路に属する他の第4ノズルによって記録される第4画素のデータを基に前記第3画素の前記クロストーク評価値を計算し、前記第1画素のクロ

ストーク評価値と前記第3画素のクロストーク評価値を基に、これら両画素のクロストーク評価値を平均化するように、前記第1画素と前記第3画素との間でデータを入れ替える処理を行うことを特徴とする。